

# 日本好配当リバランスオープンの運用状況

日本好配当リバランスオープン  
追加型投信／国内／株式

2019年6月7日

## 1. 最近のマーケット動向

5月の国内株式市場は下落しました。10連休中にトランプ米大統領が中国の輸入品に対する関税率の引き上げを表明し、米国株式が下落したことを受け、連休明け後の国内株式市場は下落して始まりました。中旬にかけては外国為替市場で円高ドル安が進行したことも重なり国内株式市場は続落しました。米中貿易協議の進展や中国政府による景気刺激策への期待から一時的に持ち直す局面もありましたが、月末にかけては米国政府による中国大手通信機器メーカーへの規制強化や中国政府による報復措置への懸念が高まり、国内株式市場は一段安となりました。

## 2. 足元の投資環境と好配当株の見通し

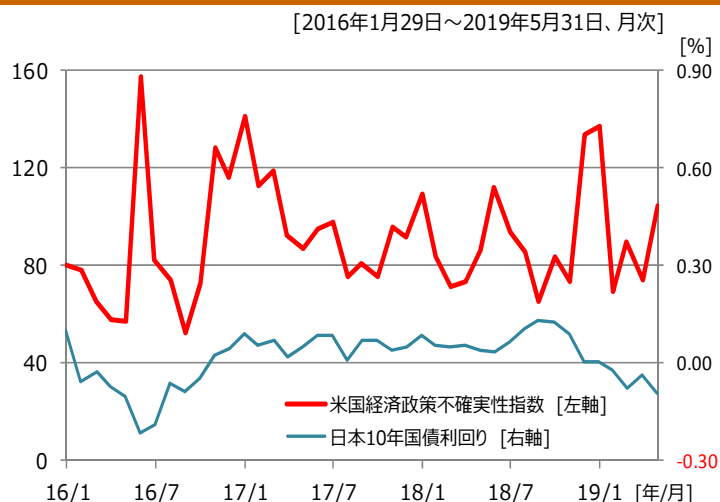
直近の金融市場では、米国による対中関税率の引き上げに加え、メキシコに対する関税率引き上げ計画の発表などを受けて不確実性が高まり、リスク回避の動きが進んでいます(図表1)。このような環境の中、当ファンドが投資対象とする好配当株は、以下の要因から底堅い値動きとなると考えています。

1点目は、低金利環境が続き、好配当銘柄に対して需要が見込まれる点です。現在日本国債の利回りは、12年程度の年限までマイナスとなっています。その一方、東証1部加重平均配当利回りは2.6%程度となっており、安定した業績で、配当利回りが高い銘柄に対してはインカムゲインを目的とした根強い需要があると考えられます。

2点目は、好配当銘柄は株主還元を重視していると投資家から認識されている点です。

投資対象としている好配当銘柄は、配当性向も日経500種平均株価採用銘柄より高くなっています(図表2)。

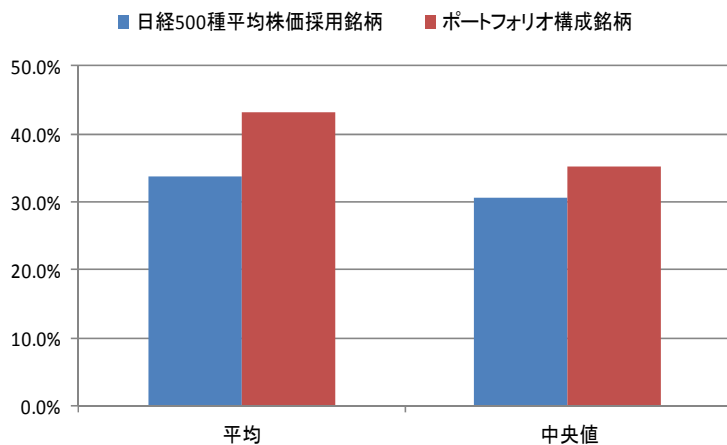
(図表1) 米国経済政策不確実性指数と日本10年国債利回り



※米国経済政策不確実性指数は、20日移動平均を取った値です。  
※グラフは、過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

(出所) Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

(図表2) ユニバースとポートフォリオ構成銘柄の予想配当性向



※ 直近のポートフォリオ構成銘柄と、日経500種平均株価採用銘柄について、1株当たり予想配当を1株当たり予想純利益 (EPS) で除したものです。  
※ 予想配当、予想純利益のいずれか、または両方が取得できない銘柄は除外しております。  
※ 予想配当性向が100%を上回る銘柄は、予想配当性向を100%としています。

(出所) Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「日本好配当リバランスオープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

日本好配当リバランスオープン  
追加型投信／国内／株式

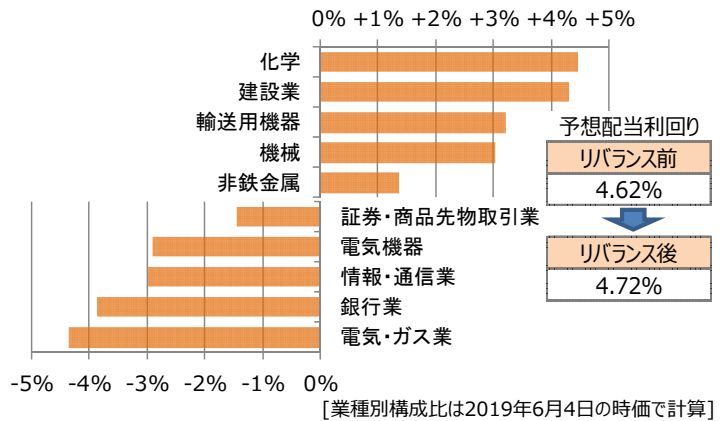
そのため、株主還元積極的に投資家から認識され、見通しが不透明な状況においても、相対的に売られにくいと考えています。

また、当ファンドでは毎月リバランスを行います。そのため、見通し悪化により投資対象企業の業績や配当が下方修正された場合でも、リバランスを通じて配当利回りが低下した銘柄は除外され、別の配当利回りの高い銘柄が、組み入れられます。このリバランスによって、相対的に配当利回りの高い銘柄でポートフォリオが構成されるようになることも、パフォーマンスの悪化を軽減する効果があると考えられます。

### 3. 6月のリバランス実施状況

6月初めに、5月末時点の予想配当利回りデータのランキング等に基づく組入銘柄の入れ替えと投資比率の調整を行いました。この結果、化学、建設業、輸送用機器、機械、非鉄金属などの組入比率が上昇し、電気・ガス業、銀行業、情報・通信業、電気機器、証券・商品先物取引業などの組入比率が低下しました(図表3)。ポートフォリオの5月末の予想配当利回りは、リバランス前の4.62%から、リバランス後は4.72%へ0.1%上昇しました。6月4日時点でも、ポートフォリオを構成する半数以上の銘柄の予想配当利回りが、4.5%を上回っています(図表4)。

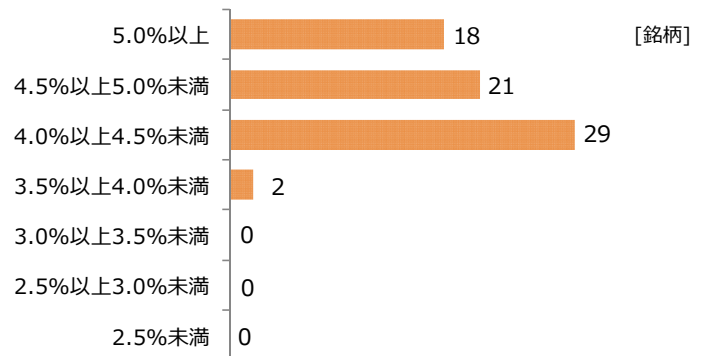
(図表3) 予想配当利回りと業種別構成比の変化



※グラフは組入業種の当ファンドの純資産総額に対する比率の変化を表しています。  
 ※予想配当利回りはリバランス基準日時点の単純平均です。  
 ※リバランス前のポートフォリオを保持した場合と、実際のポートフォリオを比較したものです。

(出所) Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

(図表4) 予想配当利回り分布



[2019年6月4日現在]

(出所) Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「日本好配当リバランスオープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**日本好配当リバランスオープン  
追加型投信／国内／株式**
**4. 基準価額、分配金等の実績**
**設定来の基準価額の推移**


※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。  
 ※基準価額は、設定日前営業日を1万口当たりの当初設定元本として掲載しております。  
 ※分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を当該分配金（税引前）が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。  
 ※日経500種平均株価は、岡三アセットマネジメントが指数化したもので、設定日の前営業日を10,000としています。  
 ※日経500種平均株価は、参考指数であり、ファンドのベンチマークではありません。  
 ※グラフは、過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

（出所）Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

**ファンドの状況**

[2019年6月4日現在]

基準価額	8,047 円
分配金再投資基準価額	18,451 円
純資産総額	73.2 億円
株式組入比率	95.4 %
組入銘柄数	70 銘柄
予想配当利回り（単純平均）	4.70 %
東証一部加重平均利回り（参考）	2.63 %

※基準価額は1万口当たりです。  
 ※株式組入比率は、純資産総額に対する比率です。

（出所）Bloomberg、QUICKより岡三アセットマネジメント作成

**分配金の実績（直近5期）**

[2019年6月4日現在]

決算期	分配金
第52期（2018年4月9日）	40 円
第53期（2018年7月9日）	40 円
第54期（2018年10月9日）	40 円
第55期（2019年1月7日）	40 円
第56期（2019年4月8日）	40 円
設定来の合計	8,150 円

※分配金は、1万口当たり、税引前です。また、分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

（作成：運用本部）

**<本資料に関してご留意いただきたい事項>**

■本資料は、「日本好配当リバランスオープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本好配当リバランスオープン  
追加型投信／国内／株式

日本好配当リバランスオープンに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。ファンドは、国内の株式等価値のある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」があります。  
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時  
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時  
換金手数料：ありません。  
信託財産留保額：換金申込受付日の基準価額×0.3%

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中  
運用管理費用（信託報酬）  
：純資産総額×年率0.8964%（税抜0.83%）
- その他費用・手数料  
監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）

有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

**販売会社**

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
アーク証券株式会社	関東財務局長(金商)第1号	○			
藍澤證券株式会社	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
SMBC日興証券株式会社	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡安証券株式会社	近畿財務局長(金商)第8号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
十六TT証券株式会社	東海財務局長(金商)第188号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
新大垣証券株式会社	東海財務局長(金商)第11号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
東海東京証券株式会社	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
ニュース証券株式会社	関東財務局長(金商)第138号	○	○		
フィデリティ証券株式会社	関東財務局長(金商)第152号	○			
二浪証券株式会社	四国財務局長(金商)第6号	○			
北洋証券株式会社	北海道財務局長(金商)第1号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
むさし証券株式会社	関東財務局長(金商)第105号	○			○
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三京証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○		○	
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
<b>(登録金融機関)</b>					
株式会社きらやか銀行	東北財務局長(登金)第15号	○			
株式会社静岡中央銀行	東海財務局長(登金)第15号	○			
株式会社東北銀行	東北財務局長(登金)第8号	○			
株式会社東和銀行	関東財務局長(登金)第60号	○			
株式会社東日本銀行	関東財務局長(登金)第52号	○			
株式会社福島銀行	東北財務局長(登金)第18号	○			
株式会社北洋銀行	北海道財務局長(登金)第3号	○		○	

※十六TT証券株式会社は同社にラップ取引口座を開設した場合に限ります。  
 ※東海東京証券株式会社は同社にラップ取引口座を開設した場合に限ります。

(注) 販売会社によっては、現在、新規のお申込みを受け付けていない場合があります。

**<本資料に関するお問い合わせ先>**

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)